



～日本青年団協議会 会長～
ふくなが あきひと
福永 晃仁 さん



います。

今回、福永さんに青年団活動についてお話を伺いました。

印象に残っている活動は

青年団OBである父親の勧めもあり、19歳で入会。入会後は、駅伝大会や町民年賀状展、サンタが日野にやってきたなど、様々な事業を行ない毎日があわただしく過ぎていきます。

町内の活動で印象に残っているのは、蒲生氏郷をテーマにした演劇「UZI SATO」。出演者は総勢50人で、脚本は1時

間半程のオリジナル。青年会活動をしている若者が蒲生氏郷のいた頃にタイムスリップし、大事なことを学ぶ、というお話です。

演技経験皆無にも関わらず、主役の蒲生氏郷役に抜てきされました。また、団員もほぼ素人。仕事終わりや休みの日に、小学校や公民館で猛練習しました。その甲斐あって、当日は500人程の観客が来場。一生の思い出となる経験をさせていただきました。

活動で意識していること

一つは、「経緯を知ること」です。それは、団体や活動の経緯など。歴代の人たちが今までしてきたことを知り、今の世の中を知ることが大事だと思ひ活動しています。また、青年団に限らず、他団体や企業、町づくりなどをやること・学ぶことも大事だと感じます。

もう一つは、「若い人たちの声を聞くこと」です。青年団という組織は、トップダウンの組織ではありません。現場の人・若

い人から「こうした現状があるから何とかしたい」という声を受け、「各市町からこうした声が上がっているのでもやりましたよ」という風に、下から上に意見が出てくる組織です。そのため、団員一人ひとりの声を聞くように意識しています。

そうした「過去の事実」と「これから暮らしていく若い人たちの事実」が、どこでつなげられるか、すり合わせをして新しいモノが作れるか、などを常に意識したいと思っています。

これから青年団に入られる方、入るかもしれない方に

青年団は「人間が成長できる場」だと思います。ともに活動した「メンバー」や、活動で学んだ「経験」は、自分が親になった時、社会で色んな判断をしないといけない時に、肥やしになるし、糧になると感じています。

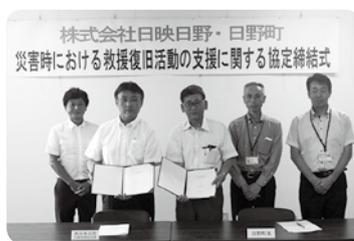
皆一生懸命やっています。興味ある方は日野町連合青年会などの活動にぜひご参加ください。

株式会社日映日野と協定を締結しました

7月9日（月）、株式会社日映日野（中村潤治代表取締役社長）と「災害時における救援復旧活動の支援に関する協定」

を結びました。

災害時には協定に基づき、避難所へ簡易なごみ集積所の設置や指定避難所の一般廃棄物・し尿の収集運搬等、救援復旧活動における様々なニーズに対する支援にご協力いただくこととなります。



山田ダンボール株式会社と協定を締結しました

8月16日（木）、山田ダンボール株式会社（中川孝昭代表取締役）と「災害時におけるダンボール製品の調達に関する協定」を結びました。

災害時には協定に基づき、指定避難所等が必要となるダンボール製シートや間仕切り等のダンボール製品の調達・供給をしていただき、避難者の生活環境の向上にご協力いただくこととなります。

なお、総合防災訓練用にダンボール製シート・間仕切り等のサンプルを提供いただきました。



100歳おめでとうございます

8月10日に圖司なつゑさんが、8月17日に増田八重さんが100歳を迎えられ、同月の17日に、町長をはじめ関係者がお祝いに伺いました。



増田 八重さん(西大路3区)

増田さんは、結婚後は家事と農作業をしながら過ごされてきました。当日はお孫さんが寄り添いながら、増田さんを支えておられました。「好きな食べ物」は「バナナ」とのお孫さんの問いに「バナナ」と答えられていました。たくさん家族からの盛大なお祝いに、とても感慨深くなっておられた様子でした。



圖司 なつゑさん(石原)

圖司さんは、兵庫県西脇市のお生まれで、機織り機で編み物をしたり、着物を作る内職などをされています。ご高齢になられてからも、編み物を趣味で続け、編み物教室にも通っておられました。作品はよく文化祭に展示されていたそうです。当日、圖司さんは息子さんや多くのお孫さんに囲まれますが、とてもにこやかにされていました。

おたっしや教室に取り組んでみませんか？

日野町では、歩いていける近所で取り組める介護予防の場として、おたっしや教室に取り組んでいます。地元の方やおたっしや教室サポーターが協力し、現在約20か所で開催。多くの方が参加しています。今回は、湖南サンライズのおたっしや教室の様子をご紹介します。



教室では、鮮やかなピントのTシャツを着たおたっしや教室サポーターがリードして、タオルや椅子を使った体操に取り組んでおられます。参加されている皆さんは、声を出しながら、楽しく、時には笑いながら運動に取り組まれています。

心も身体も元気！
湖南サンライズでは、毎週水曜日に集会所に集まっておられます。その内3回は「おたっしや教室」・1回は「脳いきいき教室」を開催。今回はおたっしや教室についてご紹介します。

一人ひとりに出席ノートを作り、続けて参加しなくなるような工夫もされています。自宅でもノートをみて、次回の教室を楽しみにしておられます。

あなたの地区でもおたっしや教室に取り組みませんか？

おたっしや教室に取り組んでみたい。今は終わってしまったけど、もう一度教室を開きたい。という仲間がいらっしゃる。お気軽に地域包括支援センターまたは、日野町社会福祉協議会(☎52-1920)までご相談ください。



◆申し込み・問い合わせ先 長寿福祉課 地域包括支援センター ☎0748-52-6001